
大晴やから・・・

夏果

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大晴やから・・・

【Nコード】

N3150H

【作者名】

夏果

【あらすじ】

明石から女子47名しかいないど田舎に中学から来ることになり不安を抱えていた夏果・・・でもそこで大晴との出会いが待っていた・・・

大晴との運命

く大晴へく

あの時、あの中学生になる時、楽しくて、明るい中学生生活になると
思っと思ってんで!!??

やのに・・・やのにあんなに悲しくて、辛くて・・・そんな思いをする
ことになった・・・大晴のせいで!分かつとん?・・・でもな、大
晴と出会って楽しかったしめっちゃ幸せやった・・・。

大晴のことめっちゃ好きやった。あの中学生時代が懐かしいわあ。

新しい友達

「なつ何組やろう???」

今日から中学生♪楽しみやなあ。

「水野夏果、水野夏果つと・・・あつあつたえーつと1年2組冬果
学級・・・」

何か同じような名前やなあ・・・はよ行こ・・・。

「おはようございま〜す♪」

うつわ知らん子ばかり・・・つま引っ越して来たからしゃあないか・
・

「ちやう学校から来た子やんな??名前わ??どっから来たん?」
うわっビックリしたあ・・・誰この子?まっいいかあ・・・

「名前わ水野夏果。」

「えっ何て?? ごめん聞こえなかった。」

「水野夏果・・・みずのなつか!! 明石から来てん。」

「明石?! 明石からこんなど田舎まで来たん?？」

「うん・・・。」

「そうなんやあ。あっ私内藤千佳、ちゅって呼んで。よろしくな!!」

やったあ1人めの友達げっと♪

「こっちこそよろしくなあ! なつのことわなつって呼んでえ。」

「うん。よろしくなつ。」

「よろしくう。」

キンコンカンコンキンコンキンコンカンコン

「やばっ座らなじゃあまた後で。」

「うん。」

よかつた〜性格合いそうな子でつつ楽しくなりそっ!

あっ先生きた・・・

「早く座れよー。えー今日からこのクラスの担任になる冬果 渉です。よろしく!!」

へ〜とうかつて読むんや〜まあ若いっぱいし顔もかっこいいしラツキー♪

「え〜とりあえず、出席をとるか〜・・・・・・・・・・・・・・・・」

・水野夏果!」

「は〜い。」

「おお水野は下の漢字が先生と似とうなあ! よろしくなあ。」
いちいち言わんでええっちゅうねん。

「え〜今から先生わ少し会議があるので・・・先生がいないあいだみんな自己紹介しといてくれる?」

え〜最悪・・・自己紹介が一番嫌いやのに〜

「じゃあやっというてな〜」

まじ最悪〜・・・

「じゃあしよか〜!!!! でわでわ私から・・・」

おおーちー自らやりようすっげー

「お前わやらんでええわ！ブスッ。」

「何なんお前うざいねんけど・・・！！」

「本間のこと言っただけやん。何？本間のことで気にさわった？？」

「うわっこいつサイテーだれこいつ？」

「ちー大丈夫かなー？？」

「本間いや・・・もう知らん・・・。」

あーあ泣いてもた・・・どうすんねん！！

「この学校本間ブサイクばかり！！47人しか女居らんしな・・・。
・。おっお前誰？ちゃうとこから来たやつ？？？可愛いやん！！！！

！自己紹介せえや。」

何なんこいつ？！お前に可愛い言われてもうれしくないし！！！！ム
かつくわー・・・

「水野夏果です。明石市から来ましたよろしくお願いします。」

はあめんどくさっ何でこんなことしなあかんねん！

「お前顔だけじゃなくて胸もナイスやん！！Dぐらいあるやろ？？」

？ラッキィ♪♪俺山本拓也よろしくなあ・・・ってか俺の彼女にした
るわ！！！」

はあ？？？？誰がやねん！ちようしのんなよっつダボ！！

「お前なんかと付き合うか！！顔面キモイクせに調子にのんなよ！
！？？」

ああースッキリしたあこんな奴わキエロ

「っ何やねん！ちよっと可愛いからって調子のりたがって・・・誰が
お前なんか彼女にするか！」

「そうそっ調子のらんとってよなくなっ拓君？！」

「黙れブス美樹。」

「あっごめん・・・。」

なんなんこいつ？！女を物みたいにして・・・

「えらいよく言った！！！！俺佐藤大樹よろしく！！そいつ前から調

子のつとうねん・・・でも女子わ全員そいつの事好きやねんなあ・・・」

えっマジで??こんな奴があ??

「全員ちゃうわ!!私こんな奴好きちゃうわ!」

あつやっぱりちーわ好きちゃうんか・・・(笑)

「えーっと大樹君やつけ??よろしくねえ。」

二人目わ男の子♪優しいっばいし仲良くなれそっ!!

「君いらんで(笑)こっちこそよろしくなつちゃん。」

「こっちもちゃん要らんで。」

うんうんやつぱり仲良くなれそう!!!

「お前らいいかげんにせえよ!!!」

「ただいまーみんな自己紹介終わった??」

先生帰って来たし・・・おもんなー。

「終わりました。」

「えーっと君は・・・佐藤君だね?報告ありがとう。」

キーンコーンカーンコーン・・・

「えーじゃあ10分休憩したら帰る準備してな!!」

あーあ先生いっちゃった・・・

「なっちゃん♪」

「あっちー。大丈夫??あんな奴が言うこと気にしたらあかんで!」

「うん。大丈夫!!てかなっちゃんもてもてやなあちゃうクラスっ

て言ってもあと1クラスしかないけど・・・。1組の男子みんなき

とんで。」

まじやつキモーてかかっこいいの居らんし・・・つまんなー

「本間やなく。俺も惚れてまうわー。」

「大樹!冗談やめて私泣くで。」

えっ、ちー大樹のこと好きなんかなあ???

「ちー大樹のこと好きなん??」

「えっ、あーまだ教えてなかったなー私ら付き合っとうねん・・・

!!!!」

「えっ、そうなん？？ビックリやわ。お幸せに。」

「どーも。」

キーンコーンカーンコーン・・・・・・・・・・

「あっ、チャイム・・座ろか。」

「うん。あっ、なつちよっとトイレ行ってくる。」

「早くなあー。」

「うん。」

早よ行かな・・・

この時もし私が教室を出なければ大晴に会うこと無かったかもしれないね・・

あの時教室を出てよかった。出会いわヒドかったけど・・でも今わいい思い出だよ。

あの時が私達の運命を決めたんだね。私後悔してないよ。

大晴との運命（後書き）

これからどんな出合いをするのか・・・。
拓也とはどうなるのか???

であい

であい

「やばいつ急がな〜!!!!」

何でこんなにトイレが遠いん?! 怒られるやん〜

ゴンツツ

「いたっ・・・何? 何か足に引っかけたー。」

「いってー。お前誰や!? 痛いやんけ! ちゃんと前見ろや!」

何なん?! こいつ・・・自分が足伸ばして座っとったんやんか!!
自分も悪いくせに・・・

「どうもすみませんでした。でわこれで」

はよ行こつと・・・!!???

「何するんよ!!!!」

「何って・・・胸触っただけでそんなに怒らんでも・・・ってかお前
明石から来たってゆう子やろ?? ここにこんな胸でかい子おらんし。」

なんなん本間に・・・キモイわ〜はよ戻ろっ!!

「おい、どこ行くねん??」

「教室戻るの!!! ほっというて!」

「俺ー今田大晴1年1組よろしく。そっちわ?」

「・・・水野夏果1年2組。」

この時から私の運命は変わっていった・・・

あんなにも大晴のこと嫌ってたのに・・・いつの間にかホントに
大好きになった・・・

いつからだったっけな???

「遅れてすみません。」

「いいですよ。早く座りなさい。」

ふう間に合った・・・ってか何なんあいつ?? えっと・・・今田・・・
大晴やったつけ? いきなり人の胸触ってきて・・・本間ウザイ! よ

「早く帰らな。荷物整理しなあかんし。」

「ああそっか引っ越して来たばかりやもんな。」

「うん。でも後、服クローゼットに直すだけやから・・・30分ぐら
いで終わるかな!」

「じゃあ、荷物整理終わったら私ん家来うへん?」

「いいん?」

「ええよ。」

「じゃあ校門で待ち合わせなあー。じゃっバイバイ。」

「バイバイ。」

ヤッター♪早く家帰って荷物整理おわらそつと

「ただいま♪♪」

「お帰りー。はよ荷物片付けよ!」

「うん。終わったら友達の家行って来るなー。」

「道迷ったらあかんでー(笑)。」

「迷わんわ!!!」

もうママいっつもこんなこと言うねんからームカツクなー!!!!

であい（後書き）

大晴とのであい・・・。

何だか運命的な出会いをした・・・。

これからどうなる？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3150h/>

大晴やから・・・

2010年10月9日02時21分発行